
相互レビュー評価軸

- 教材①：演習05
- 教材②：演習06

最終プレゼン評価軸（1/3）

担当として割り当てられた数名分の最終プレゼン資料を、最終プレゼン例も参考に、あくまでも**経営者の視点（ビジネスでの実益の有無＞技術の厳密性）**で採点しましょう。

※まずは解答例をご確認いただき、基準となるレベルを理解した上で、他者評価を実施してください。

各項目ごと、Lv1 (=1点)、Lv2 (=2点)、Lv3 (=3点)、Lv4 (=4点)のどのレベルにあてはまるかを判断し、レビューシステム上で、最も当てはまる選択肢を選んでください。

なお、全項目共通で、最終プレゼン例のレベルで記載できている場合は、“Lv3 (=3点)”の評価となります。また、最終プレゼンは一例であり完璧な解答ではありませんので、より優れたレベルで記載できていると判断した場合は、“Lv4 (=4点)”の評価をつけてください。

評価項目			評価の観点	最終プレゼン例で参照するページ	評価			
大分類	中分類	#			Lv1 (=1点)	Lv2 (=2点)	Lv3 (=3点)	Lv4 (=4点)
プレゼンテーション資料の分かりやすさ	論理性	1-a	論理的な説明ができて いるか	資料全体	各スライド内において、情報の 取捨選択/構造化が <u>できて いない</u>	各スライド内においては、情報 の取捨選択/構造化が <u>できて いる</u>	各スライド内において情報の 取捨選択/構造化が <u>できて おり、かつ、全体としても 論理的にストーリーを展開 できている</u>	<u>最終プレゼン例よりも情報の 取捨選択/構造化、全体の ストーリー展開が優れている</u>
	見易さ	1-b	必要に応じ適切な図表 活用ができて いるか	資料全体 (特に図表を含む部分)	メッセージを伝えるために、 必要に応じ図表を用いて 説明 <u>できていない</u>	メッセージを伝えるために、 必要に応じ図表を用いて 説明 <u>できているが、必ずしも 分かりやすくはない</u>	メッセージを伝えるために、 必要に応じ分かりやすい図表 を用いて説明 <u>できている</u> <ul style="list-style-type: none">業務フローをまとめる際に、 ただの箇条書きではなく、 工程ごとに整理できている展開計画・ロードマップが 線表で描かれている	メッセージを伝えるために、 必要に応じ <u>最終プレゼン例 よりも分かりやすい図表を 用いて説明できている</u>
	理解し易さ	1-c	提案内容全体をスライド 1枚程度で理解できる サマリを作成できているか	ご提案サマリー	全体のストーリーが分かる サマリが <u>含まれていない</u>	全体のストーリーが分かる サマリが <u>含まれているが、 端的にまとまっていない</u>	全体のストーリーが分かる サマリが <u>含まれており、端的に まとまっている</u>	全体のストーリーが分かる サマリが <u>含まれており、最終 プレゼン例よりも端的に まとまっている</u>
経営判断の実施可否	現状・ 目的理解	2-a	企業の現状と、それを踏 まえた今回のプロジェクト の目的を十分説明でき ているか	背景・目的 現状の整理	現状・目的理解の <u>要素が 含まれていない</u> <ul style="list-style-type: none">現状、目的の片方しか 記述できていない場合 含む	現状・目的理解の <u>要素が 含まれているが、当該企業 の現状・目的を整理できて いない</u>	現状・目的理解の <u>要素が 含まれており、当該企業の 現状・目的を整理できている</u>	<u>最終プレゼン例よりも分かり やすく/詳細に、当該企業の 現状・目的を整理できている</u>

最終プレゼン評価軸 (2/3)

評価項目			評価の観点	最終プレゼン例で参照するページ	評価			
大分類	中分類	#			Lv1 (=1点)	Lv2 (=2点)	Lv3 (=3点)	Lv4 (=4点)
経営判断の実施可否	実現性	2-b	提案内容の実現性判断に必要な要素を十分説明できているか	提案内容と実現できること、モデルの精度・特性使用イメージ	実現性の検証の <u>要素が含まれていない</u> <ul style="list-style-type: none"> 提案概要、打ち手の具体的な内容、運用フロー等、実現性を判断する上で必要な要素が一部欠けている場合を含む 	実現性の検証の <u>要素が含まれているが、実現性が低い</u> 提案となっている <ul style="list-style-type: none"> 難易度が高く実現性が疑わしい場合や、現場オペレーションに適合しない提案となっている、等 	実現性の検証の <u>要素が含まれており、実現性も高い</u> 提案となっている <ul style="list-style-type: none"> 現場オペレーションを加味して打ち手の導入後フローを検討できている、従業員のデジタルリテラシー有無も考慮できている、等 	実現性の検証の <u>要素が含まれており、実現性も高い</u> 提案となっており、より <u>具体性があるなど最終プレゼン例より実現性が高い</u>
					投資対効果を判断するのに必要な <u>要素が含まれていない</u> <ul style="list-style-type: none"> 効果、費用の片方しか記述できていない場合を含む 	投資対効果を判断するのに必要な <u>定量・定性効果の根拠、費用の記載があるが、納得感がない部分がある</u>	投資対効果を判断するのに必要な <u>定量・定性効果の根拠、費用の記載に納得感がある</u>	最終プレゼン例よりも、 <u>定量効果の算出ロジック・定性効果の根拠・費用の記載に納得感がある</u>
計画性	2-d		今後の導入・展開計画の妥当性の判断に必要な要素を十分説明できているか	アクションプラン	今後の導入・展開計画に係る <u>要素が含まれていない</u>	導入・展開計画の <u>要素が含まれているが、具体的なアクションが整理されておらず実現プロセスが不明確</u>	導入・展開計画の <u>要素が含まれており、各アクションが整理されていて実現プロセスが明確</u>	最終プレゼン例と比較し、 <u>必要と思われる項目が追加されていたり、より詳細な粒度で、アクションプランが整理されている</u>
					内容・表現方法等において、 <u>創意工夫はない</u>	内容・表現方法等において、 <u>創意工夫はあるが、プレゼンの有効性には寄与していない</u>	内容・表現方法等において、 <u>創意工夫があり、プレゼンの有効性に寄与している</u>	内容・表現方法等において、 <u>独自性が高い創意工夫があり、プレゼンの有効性に大きく寄与している</u>
共通	創意工夫	3-a	プレゼン全体を通じ内容・表現方法等において創意工夫があるか	資料全体				

最終プレゼン評価軸（3/3）

ここからの4問(#4-7)は、採点のスコアには反映されませんが、プレゼン資料の作成者には開示されます。

- 4 ここまでは、評価の観点に基づき資料を採点頂きました。最後に、視点を切り替え、ご自身がレビュアーではなく、中小企業の経営者であったとしたら、というつもりでお答えください。本提案を受け入れる/受け入れないの2択でお答えください。
(本設問は、採点のスコアには反映されません。こういったプレゼン資料が、意思決定に繋がりやすそうかを分析するための質問です。)
- 本提案を受け入れる
 - 本提案を受け入れない

5 良かった点、自身のプレゼンに取り入れたい点を記入してください (回答は任意ですが、記載することを推奨しております)

6 ここを改善するとよりよいプレゼンになる、という点を記入してください(回答は任意ですが、記載することを推奨しております)

7 その他コメント・作成者へのメッセージがあれば記入してください(回答は任意ですが、記載することを推奨しております)

重要なチェック項目となるため、注意事項をご一読いただき真摯にご対応ください。作成者には開示されません。

- 8 今回採点頂いた最終プレゼン資料が **修了に値しない** と思われる場合は、以下の「修了に値しない」にチェックをお願いします。

注. 「修了に値しない」にチェックした方は、理由もお答えください（必須記入）

- 例1. 提出された資料が表紙しかなく、プレゼンの中身がない
- 例2. 全ての設問が★1つで評価が低い